

文京人



文京区立第一幼稚園

文京人インタビュー

文京区役所落語研究会さんに聴く

笑う門には福来ると

「笑福寄席」で笑いを届けて41年

本日は文京福祉センター江戸川橋にて笑福寄席を開催していただき、たいへん楽しませていただきました。261回なのでね。まずは活動のきっかけをお聞かせください。

松本誠「亭号…居酒屋馬落いざかやばらく 以下同様」

私と同僚でこの落研を始めました。昭

和57年10月に、文京区旧庁舎の地下食堂に10数名が集まって「落語研究会旗揚げ式」と称する飲み会を開きました。互助会からサークル補助金をもらって解散する魂胆だったのですが、1年以上の活動実績が必要と言われました。翌年の職員文化祭で旗揚げをし、その後も何度か区役所内で笑福寄席を開催してきました。昭和60年敬老の日に大塚寿会館（現在の
大塚北会館）で開催しましたら、かなり

ウケまして、演者一同気をよくして、文京区内の寿会館を次々に回って17か所全部を制覇してしまいました。結局解散せずに、今まで続いてきたわけです。高齢者施設などでの活動が認められて、平成23年には成澤区長から特別表彰状をいただきました。団体としては初めてだそうです。今は年に4、5回、笑福寄席を開催しています。



居酒屋馬落



会員は何人くらいですか

松本 発足時は30名くらいで、見る方が専門の人や専門の人や女性もいました。現在の会員は10数名ですが、実際に高座にあがるのは7名程です。現役の区職員しか入会できませんが、会則により、退職後も、本人が希望すれば継続することができます。東京都23区の区役所で落研があるのは、昔調べたところ文京区だけでした。

自己紹介と落語とのかかわりを
お願いします。

渡辺潤 わたなべ ぬんじゅん 私は今年70歳になります。70歳からマラソンを始めた人の本を3年前に読んでから、小さなことでもよいから毎年新しいことにチャレンジしようと思いい立ちました。昨年から毎週水曜日に講談の師匠に習い、笑福寄席への出演は本日で2回目です。今年は更に料理にチャレンジしています。

渡辺潤 わたなべ ぬんじゅん 私は今年70歳になります。70歳からマラソンを始めた人の本を3年前に読んでから、小さなことでもよいから毎年新しいことにチャレンジしようと思いい立ちました。昨年から毎週水曜日に講談の師匠に習い、笑福寄席への出演は本日で2回目です。今年は更に料理にチャレンジしています。

渡辺織潤



山田



山田舞也 やまださん 落語は中学生からラジオで聞いていましたが、演じるのは大学の落研に1年間所属してからです。18歳から現在32歳まで東大に在学し、在学年数最長記録じゃないかと思えます。理科系から社会学系に移り学びながら、生活福祉課で働いています。落語によくでてる長屋は人の幸せのユートピアだと思えます。全日本学生落語選手権の策伝大賞に、

ぎりぎり出られる身分なので今年はお出ようかなあ。



糸日谷友「田町家軽気」

たまちやよろすけ

お笑いが好きなので大学に入って落研に入りました。落語を覚えるのは大変で、前夜に泣きながらなんとか型にするのを毎回やっています。職場では、周りの人に知られると「なんか面白いことやっつてよ」とか求められるのが嫌なので、なるべく隠すようにしています。

篠聡一郎「山柳山柳」

やまやなざんりゅう

私は子供の頃から落語が好きで好きでたまらず、中学卒業



時と高校卒業時に、プロになりたくて落語家に弟子入り志願に行きました。うまくいかず、しょうがないから就職しました。本職になりたいので、素人として落語をしゃべろうとは思っていませんでしたが、ケースワーカーになりたくて区の職員に転職し、この落研を知り参加しました。耳が肥えているので、そこはこう演じたほうがいいですよとか言います。

松本 篠さんは、落研創立後に入ってきた

で中興の祖と呼ばれています。彼が入らなければ、不純な動機で発足した落研は解散していたかもしれません。

篠 3年前に早期退職した後も落語がやりたくて、あちこちで出させてもらい、コロナ前は年間80回出演しましたが、今年は70回位でしょう。すぐできるネタの数は30位。事前におさらいするものを入れれば50位。

松本 私は創設メンバーとして、今まで続いてきたことは感無量です。高校の時から落語をやっていました。そうでなかつたら、つまらない人生だったと思います。高座の前の緊張と、終わった後の解放感がよいですね。皆さんに喜んでらって公共に福祉するというより、目立ちたいから、自分が楽しいからやっている感じですね。もともとやっていた35本くらいのネタを1週間か1か月位さらってやっています。

練習は、どうしているのですか？



篠 最初の4〜5年は月に1回あつまり車座で練習会をやっていました。それが飲み会になって自然消滅し、今は練習を個人個人でやっています。演者には、セリフをきちんと決めてさらうタイプと、大づかみでその場でアレンジするタイプがあり、落研の中でも半々ぐらいですね。

公務員との両立で ご苦労はありますか

松本 職場での落語会で、区の偉い人の物まねをするとウケるのですが、それを入づてに聞いて文句を言う人がいます。もちろん誹謗中傷しているわけではありません。

篠 逆に公務員は有給休暇を1時間単位で取れるので、昼休みの落語会には楽ですね。発表の場として区の施設があるのも良い点です。この落研がよいのは、公務員なので、出演料も交通費もいただかないこと。ほかのボランティアグループで落語をやっていると、ほとんどの人が

対価を求めるようになってしまっているので嫌ですね。

そろそろ、縮めの言葉として メッセージをお願いします

糸日谷 もし区の職員の方で、これを読んで興味をもったら、ぜひ連絡をください。または、イベントなどで呼びたい方がいらしたら、日程の調整さえつければ駆けつけます。予算がなくても大丈夫です。



文京区役所落語研究会

✉ kantuu_@yahoo.co.jp

☎ 090-4173-3106



まんぷくカフェ ごはん茶々。

目白坂下支店

店長 宮代名央美さん

文京区民に
愛されて10年



ここはカフェ？ ごはんで書いてあるから定食屋さんなんじゃない？

ユニークな看板に目をやった最初の客は想像力を巡らせながら呟いたに違いない。店のネーミングは「ごはん、茶、デザートを食べてまんぷく」という意味だという。



「食べている人を見るのが好き」とチャーミングに微笑む店長の宮代名央美さん。

小さい頃からバスデイやイベントがあると、家族のために、毎年お菓子を作っていたという無類の料理好き。卒業後のアルバイトも飲食関係。気が付けば今や飲食店のオーナーに。

宮代さんは、「ぼんたぼんた護国寺店」というおにぎり屋さんのチェーン店に在籍していたが、社長に背中を押されて系列店でありながら違うジャンルの出店を

計画。店のネーミングも一緒に考えたという。

「公園が近くにある静かな場所」を希望していた。その理想郷ともいえる場所が、目白坂下界隈だった。

店はこじんまりした佇まい。「自分の家にいるような寛げる空間にしたかった」と、インテリアにも拘りをみせる。本棚もあり、ゆったりとソファで寛ぐこともできる。

常連客たちは客というより家族として迎え入れてられているようだ。家族だからこそ、リーズナブルで、とびきりおい



店内のインテリアは、まるでわが家のようなゆったりほっとくつろげる癒しの空間

しい料理を食べさせてあげたい、そんな思いがあるのだろう。

宮代さんは仕込みから料理、顧客対応まで一人でこなす。その情熱とスーパーマンぶりには驚かされる。

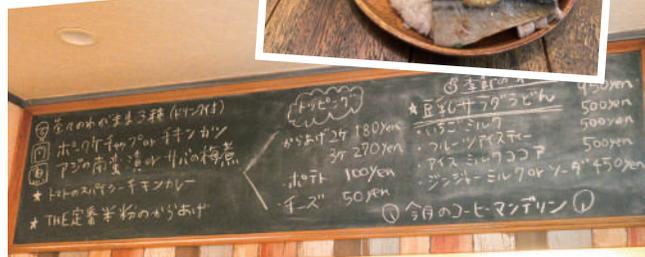
同店は、お母さんが子どもに安心して食べさせられる家庭料理を提供している。そのこだわりゆえ「家族そろって安心して食事ができる店」として地域住民に愛され続けてきた。

メニューは基本的に開店当初と変わらず、から揚げは人気メニューの一つ。夏はアジの南蛮漬けや、お客さんのリクエストから生まれたタコライス、豆乳サラダうどん、冬はグラタン（醬油入り）など。季節感も御馳走の一つだ。

また、神楽坂に近いこともあり、ベジタリアンの外国人にも対応。アルコール飲料も提供するなど、まさに「みんなのごはん屋さん」を体現している。

冒険心と創意工夫が新作料理の閃きに繋がり、お客さんとのコミュニケーション

メインは、肉・魚・野菜、ごはんも白米と雑穀から選べる



黒板に書かれた本日の定食メニューと本日のコーヒー

ンのきっかけにもなる。次の新作はスイーツにこだわりたいという。宮代さんのアイデアから次々と生み出される逸品の数々。つい期待せずにはいられない。

時に理想と現実ギャップを生むが、リップサービス抜きで、「文京区のお客さんはみんないい人」と言いつて憚らない。土曜日は犬との同伴もOK。家族ぐるみで寛げるセカンドハウスのな場も提供し

ている。犬も「おとなしくていい子ばかり」と言い、これまでトラブルもないらしい。

文京区再発見。インタビュを通して筆者の心の中にも温かいものが走る。今後も一人で文京区のこの場所で営業を続けたいという。宮代さんのような文京人がいることに改めて感謝したい。

「この地域は本当に良い人が多くあたたかな場所なので、初めての出店でも頑張ってほしいです」
最後に次に続く人に応援のエールを送っていただいた。



まんぶくカフェごはん茶々。

〒112-0013

文京区音羽 1-25-12

中銀第二音羽マンション

☎03-6902-1171 (不定休)



多様性を彩る

障がい者アート

「街なかアートプロジェクト」をご存じですか？

文京区内の障がい者通所施設で障がいのある方々が
創作したアート作品を、区内の調剤薬局で展示発表しています。



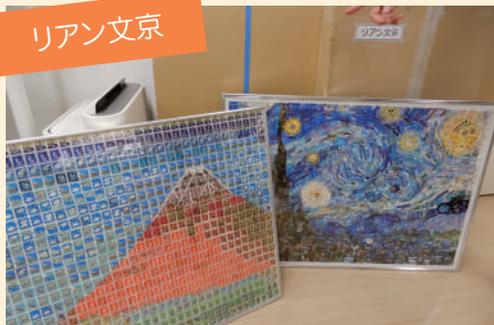
今回は、その制作現場へおうかがいしました。リアン文京2階〈みんなの工房〉では、5名の障がいのある方々が、色鉛筆・マジックなどの画材を使い、思い思いに作品に取り組んでいました。

この工房を7年前の創設から現在までサポートしてきた宮本統子（みやもと のりこ）さんによると、「まず型染め教室に職員が通って学んできて、利用者さんと共に制作した作品を、社会に理解してもらえるようにと販売も始めました。でも型にはまった制作よりも柔軟な発想を生かした自主作品の方が売れ行きがよく、そちらにシフトしてきました」とのことです。

一人ひとりの個性を生かす作品だけではなく、協力して作品を作り上げることもあります。例えば、使用済みの切手を集めて、微妙な色の濃淡ごとに仕分けし、カラージュして名画を模写するなど、細かい作業の積み重ねで完成する〈切手はり絵〉には感動させられます。

障がいのある方々の描く絵には独特の

リアン文京



魅力と個性があります。鮮やかな色使い、繊細なパターンまたは大胆な筆使いなど、予期せぬ驚きと感動を生み出す作品は、私たちの固定観念を打破し、新しい視点をもたらしてくれるようです。

グッド薬局小石川店



展示会場のひとつグッド薬局小石川店へも立寄ってみました。小児科医院が近く、訪れた子供たちが描いた塗り絵が壁一面に飾ってあります。それに囲まれて今回の5作品が展示されることになりました。中でもひまわりの切手はり絵が一番人気だそうです。ポケモン切手も使われており子供たちは「うおー」と興味いっぱいです。「障がいのある人の作品なんですよ」と説明すると、お母さん達もびっくりするそうです。アートを通じて触れ合う機会が提供できてよかったと調剤薬局の人も喜んでいました。



Information

街なかアートプロジェクト

<https://www.city.bunkyo.lg.jp/b018/p007581.html>

リアン文京

<https://team-lien.com/>



障がい者アートは、包容力のある社会を目指す一環として、重要な役割を果たします。多様性の重要性を強調し、あらゆる人々の才能と声を認めることの大切さを教えてくれます。美しさと力強さを兼ね備え、その魅力は無限大です。興味をそえられるでしょうか？

このような23作品が文京区内の調剤薬局10店舗で展示されています。またリアン文京1階コミュニティカフェBunBunでは障がい者アート製品を、常時展示・販売していますので、お気軽にお立ち寄りください。



地元行事を

未来へつなげる

前号の『障がい当事者ボランティアをご存知ですか?』の取材を通して、小日水町会の皆さんの温かさに触れた編集部員。今号では実際に「小日水縁日」と「小日向神社祭禮」の様子を取材してきました。

7月28日(日)
「小日水縁日」へ

この催しでは、小日水町会の青年部が中心となり、町内のボランティアさんたちや Berin(ビーリン)さんと一緒に多種多様なゲームや模擬店を出しているそうです。「今の子どもたちにも『お祭り楽しかった!』という思い出を残してもらいたい」という町会副会長の丸山さん。今の大人世代が子どもの頃は、小日向神社の境

内に露店が出ていたそうです。丸山さんもおこづかいでゲームやお面を買ったり、あんずあめを食べたり、とても楽しい思い出があるとのこと。その体験を現代の子どもたちにもしてほしいと張り切ります。

会場にずらりと並ぶテント下には、輪投げやお菓子すくいやストラックアウトなどのゲームコーナーと、焼きそばや焼き鳥やかき氷などの屋台がたくさん。子どもたちは目を輝かせてはしゃいでいます。お友達と小遣いを握りし



輪投げやストラックアウトを楽しむ子どもたち

めてゲームの列に並ぶ子どもたち。家族と一緒に浴衣を揃えて訪れる子どもたち。それを出店で迎える町会員さんとボランティアさんたちの温かいまなざし。きっと大人になっても、この『楽しかった思い出』が子どもたちの心に残り、未来につながっていくことでしょう。

祭

9月7日(土)・8日(日)
「小日向神社祭禮」へ

小日水町会の大人神輿はとても大きく重く、手作りで作られているそうです。取材班が会場に到着すると、法被に八巻姿の男性陣が大人神輿を組み立てているところでした。お話を聞くと、ここ数年はコロナ禍もあって、残念



↑組みあがった大人神輿

←手作りのおにぎりや焼きそばなどが渡卸の後に振舞われる

ながら大人神輿を渡御できずにいらっしやるとのこと。長い間、この大人神輿は事前に声がけて参加される神輿同好会30団体の約200名と、地元氏子100名の総勢約300名が協力して担いできたそうです。6時間かけて町会内を担ぎ歩く神輿渡御は祭禮の花形であり大きな魅力でした。

青年部員の矢郷さんにお話を聞くと、渡御終了後も、町会の通りいっぱいブルーシートを敷き、参加された神輿同好会の方々に、お神酒やお供物、手作りのおにぎりや焼きそば、ウインナー等をふるまう直会なわらいで接待してこられたそうで、ハレの日らしい賑やかな行事であったことがうかがえます。おにぎりを作る時は、文京総合福祉センターの台所を借りて500個も手作りされていたそうです。

この日は子供神輿と山車が出ました。担ぎ手、引き手は町会の元気な子どもたち。威勢の良い3本締めで活気を入れて出発。力強い「わっしょい！」の

掛け声とともに子どもたちが通ると、道行く人々が皆足を止めて応援します。子供神輿でこれだけ華やかなのですから、大人神輿が練り歩けばその何倍も神々しく人の心をとらえるものでしょう。

「どうか近い将来に見られますように」と小日向神社に頭を下げた取材班でした。



「わっしょい！わっしょい！」元気いっぱい子ども神輿

■表紙の写真

「今回は初めて幼稚園です。1887（明治20）年に誠之小学校内に付属幼稚室が設置され、10年後に現在の場所に園舎が建てられました。1919年（大正8年）には独立して「東京市本郷区第一幼稚園」となり、東京都内唯一の独立公立幼稚園でした。1947（昭和22）年に文京区立第一幼稚園と改称されています。

当初の木造園舎から鉄筋コンクリートに改築されましたが、ステンドグラスは90周年記念事業で復元されました。また園内の資料室には昔懐かしい品々が保管されており、訪れた卒業生に童心を思い起させることでしょうか。手造りのドールハウスなど園内は古くて可愛いものが満載で、紹介しきれないのが残念です。

園舎内では、アヒルやウサギが園児たちと一緒に元気に遊んでいます。「幼児をして天賦の知覚を開発し善良の言行を習熟し身体の健康を保全せしめ以て家庭の教育を裨し学校教育の基を成すを以て目的とす」という設置目的の精神は今も引き継がれているようです。

■写真提供（敬称略）

文京区役所落語会（本文） 小日水町会（本文）

Café Tweedia

〒112-0013 文京区音羽 1-2-18 1階
TEL:090-7555-0866



地域のだれもが気軽に立ち寄れる場所です。コーヒーやジュースなど400円程度インスタ始めました！



広告募集

文京人に
広告を掲載しませんか

詳細は編集部までメールでお問い合わせください。

文京区の人と地域をつなぐ情報誌

文京人（ぶんきょうじん）第六号

題字：上村正子

企画編集『文京人』編集部

発行：NPO法人 地縁の輪

発行日：2024年12月30日



お問い合わせ先：

社会福祉法人武蔵野会

文京福祉センター江戸川橋

電話：03-5940-2901

edogawabashi@team-lien.com



無断転載禁止

職員募集

リアン文京は多世代の方に
ご利用いただく福祉の
都市型複合施設です。
ご利用者と笑顔になれる職場で
一緒に働いてみませんか？
ぜひお問合せください。



リアン文京は、
NPO法人地縁の輪と一緒に
文京の地域に貢献していきます。

社会福祉法人武蔵野会 リアン文京

〒112-0006 文京区小日向 2-16-15 ☎03-5940-2822 03-5940-2823
担当：野村・渡部 <https://team-lien.com>